

# ① 発想・着眼

- B-1 おおきにトビケラ 感謝 不使被害のギャップを埋める, ログブック [感謝を込めて実行し伝達]
- B-3 紙しばい, かんぱれ 水門, 発信 → びわ湖岸で目にするが知らず → 多くの人に生態など, 学びのきっかけ
- C-1 大河ドラマ紫式部 → Xカズムの理解 びわ湖沿岸の苦勞, 歴史を掘り出すこと重要
- C-2 川ゴミ = プラスチックゴミ (まちなか, 道路のゴミ) 下流, 瀬田川, 淀川へ流れる ⇒ 対策必要 巡視活動 → 川の関心, 出会い, 地域活性化
- B-2 酒くら 一人を通じた関わり DA-4 山本さん 活動ゴミひろいから 行動力, 思いやり, 世の中の制度を最大限活用しているコンビ

2022.9.27 (土)  
淡海の川にリターン  
全国にも他は増えたり  
びわ湖にシ

# ② 住民と水辺の関わり

- A-1 明石川 ととも生きていく 困難のリソース, テナゲエビ, クラゲ, テンダ, ねらうしい
- A-2 「山」との関わり, 移住者受入れ, 古民家, 地元幸ふるまい, 活性化 川と人の距離を離れた → 年寄りがつまんでいく

# ③ 協働プロセス

- B-3 県, 水質, 学校連携
- C-1 水質調査の和のつながり (瀬田川-西の湖), 他からよばれている ⇒ 学びの場!
- A-2 移住者の面接, 行李への参加が条件 = 仲間としていくため, 地域に溶け込む, 保険会社つきあ, 5Pの移住者さん, 地域の魅力を伝える, つながり相手をつくる
- B-1 次につなぐ募集 → 河川ボランティア, 卒業後も活動力, つながりが後輩, 和地域
- B-2 親子活動
- B-3 いろんな方向にヒヤリング, 伝えるツールとして, 紙しばい, 伝える × 伝える ×
- C-3 自治会要望のごようきき 横に立って実現, 河川法改正 オープン化理解し実現

# ④ 計画・技術

- A-3 川を歩いて, 川床をたがひ, 原点「遊び, こどもの頃の経験」 川に入ってほめあう 人のつながり活用
- B-2 野洲川 土んねん隊 → 水質, COD, 採集, 水量, 色, 流れ, ゴミ, 外来種, 3R, 火傷, 生物の維持, 上流へ下流ドローン

# まとめ

- 1人の力こそ出発点, とうつなぐ (安居) 世代間つなぎ, 学び
- 多くの気づきあり (吉岡)
- 静岡, しがの川をほめあおう しがの川へいきな (八木)
- つみ重ねからのアウトプット, 新しい方もある, ミックスによるアリア 推奨こそアリア (金毛)
- 川に寄りかかっている 川, 水辺 地域の宝 気付いていない人あり, 伝えていこう 川は勝手にかかっている 人のくらしがた, かがわい, まちづくりを ⇒ 川に入る, 近づくこと! 大事 楽しくする仕組み (栗原)